

JICA 第三国研修「次世代ネットワーク (NGN) 構築に向けた IP 通信」 in ベトナム

(研修期間 : 2010 年 11 月 15 日 ~ 12 月 10 日)

佐藤 順 (JICA 短期専門家)

2010 年 11 月 25 日 ~ 12 月 16 日まで JICA から在外研修専門家としてベトナム国に派遣された。同国ではデジタル通信専門分野の講師の育成、施設の整備及び研修プログラム等の開発に係る技術移転を目的とした JICA 技術協力プロジェクト「ベトナム電気通信訓練向上計画」を 1999 年から 2004 年までの 5 年間実施した。その後、同プロジェクトの成果を近隣国の技術者へ普及させることを目的とした第三国研修「デジタル電気通信網の保守運用技術」を 2005 年から 2007 年にかけて実施し (計 3 回) 同技術の普及については一定の成果を達成した。さらにベトナム国及び近隣国では IP 通信網の導入が始まり、そのために 2009 年から 2011 年 (3 年間) の予定で、ベトナム国郵電公社第一郵便訓練センター (PTTC1) において、NGN を想定した IP 通信機器の運用保守管理能力の向上を目的とする第三国研修を実施中である。今年度は 2 回目で 11 月 15 日から 12 月 10 日まで実施された。(写真 1 : 開講式)

研修の内容は、大きく分けて「デジタル通信網 (機器)」+「IP 技術を使用した次世代ネットワーク (NGN)」の座学、及び IP 通信の実習 (MPLS 環境上の VPN 設定等) それに通信関連機関の見学、JICA 専門家の特別講義、IP セミナなどであった。(写真 2 : 筆者講義風景) 今回は、ベトナム、ラオス、カンボジア、ミャンマーから各国 5 名合計 20 名の 20 代 ~ 30 代の若手技術者が参加した。NGN の講義及び実習は PTTC1 のみならずベトナム側の研究開発機関などからもインストラクタが参加した。

実習では 3 班に分かれて行き、同じ国同士が固まらないように班構成をとり、各国の技術者が和気あいあいと合同で実習に取り組んでいた。(写真 3 : 実習風景)

今回の専門家の目的は IP 技術に係る特別講義、セミナーにおいて最近の日本の IP 技術のトピックスの発表、現地インストラクタのモニタリングおよび評価、テキストの見直しに係る助言・指導を行うことであった。私は特別講義では「インターネットの品質とトラフィック管理技術」、IP セミナでは (独) 情報通信研究機構 (NICT) が推し進めている、NGN の次の世代の新世代ネットワーク (NWGN) (AKARI プロジェクト) のコンセプトについて紹介をした。

施設見学旅行は沿岸部のハロン電話局となり、通信設備の見学および IP 通信サービスの一つである IPTV の実演と説明を受け、電話局幹部との意見交換が行われた。(写真 4 : ハロン電話局屋上)

今回の派遣は個人コンサルタントの資格で応募したが、派遣期間中は (財) 海外通信・放送コンサルティング協力 (JTEC) に日本国内の連絡窓口およびバックアップ体制を敷きサポートして頂いた。

また、セミナーのプレゼン資料作成にあたり、NICT より AKARI プロジェクトの資料を提供して頂き、感謝しております。



写真1：開講式



写真2：講義風景（筆者）



写真3：実習風景（MPLS 上のVPN の設定演習）



写真4：ハロン電話局屋上